

■ 病院勤務医の負担軽減計画

(具体的計画)

1. 医師・看護師等の業務分担

オーダー(投薬・検査・予約等)の代行入力を看護師および医師事務作業補助者が行う。
血糖測定器の使用法説明などの指導を薬剤師および看護師が行う。

2. 医師に対する医師事務作業補助体制

外来に医師事務作業補助者を配置し、カルテの代行入力、診療予約入力、医療上の判断が必要ではない電話問い合わせ対応、料金説明、問診票の登録等の業務を行う。

3. 短時間正規雇用の医師の活用

非常勤医師を雇用し、初診患者、健診等を担当することで常勤医師の負担軽減に寄与する。また、当直業務にも非常勤医師を配置することで、常勤医の当直回数が月に1~2回となる体制を構築する。

4. 地域の他の医療機関との連携体制

地域連携担当を配置し、担当医の判断において、より高次の救急医療が必要と判断された場合には、他院(日赤医療センター、大学病院など)への搬送を補助する。

2025年1月1日



山王バース
センター院長